

第2510地区 第11グループ



2006~2007

The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

# 函館北ロータリークラブ会報

2006~07年度  
国際ロータリーのテーマ

## 率先しよう



2006~07年度  
国際ロータリー会長

ウィリアム B. ボイド

柴崎 晃 会長 テーマ

— 今、出来る事から始めよう —



国際ロータリー第2510地区ガバナー公式訪問記念

8月23日 ガバナー公式訪問

### 《第2071回例会》 第8号 8月30日(水)

#### 本日のプログラム

卓話「松下幸之助に学ぶ人材育成方法 褒め・叱り・共に歩む」

松下政経塾 25回生 高松 智 氏

★会 長 柴 崎 晃 ★幹 事 山 下 清 司

例会場：函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151  
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務局：函館市大手町5-10 二チロビル4F TEL23-3870

模範とならずとも反面教師でもかまいません。自分が行動を起こすことによって必ずロータリーは活性化することでしょう。

その意気込みを持って、今年1年間全力投球する覚悟でございます。

皆様の絶大なご理解とご協力をお願いしなければなりません。

共に、ロータリーライフを楽しみましょう。よろしくお願い申し上げます。

(会報担当者：増山 正 委員)

**土地・建物・調査・測量・登記・土木設計**  
**GIS 国土地理情報 等**



**株式会社 南木測量設計事務所**  
代表取締役 **南 木 哲 雄**

〒041-0821 函館市本通2-17-15  
TEL 0138-54-5550 FAX 0138-54-5553  
E-mail minamiki@crocus.ocn.ne.jp

(広告掲載：南木 哲雄 会員)

函館北ロータリークラブのホームページアドレス <http://www.hakodate-north.org/>

**◎8月9日出席報告**

会 員	32名	出席率対象会員	31名
		出席規定免除会員	1名
		出席率規定免除会員	0名
当日出席	22名	当日欠席	10名
他クラブ出席	4名	出席合計	26名
出席率		83.87%	

**・テレフォンサービス(例会移動案内)電話 26 - 3170 番**

<b>次回・9月6日 プログラム</b>	<b>「新入会員卓話」</b> 成田 豊 会員
--------------------------	-------------------------

2006～2007 〈第2070回例会〉第7号

8月23日の記録

◎司 会 柴崎 晃 会長 ◎斉 唱 奉仕の理想、四つのテスト

◎ゲスト 国際ロータリー第2510地区ガバナー 丸山 淳士 氏  
国際ロータリー第2510地区ガバナー補佐 大場 公孝 氏

◎ビジター 函館五稜郭R.C.阿彦 治 君

◎会長報告 柴崎 晃 会長

○丸山ガバナーをお迎えして、クラブアッセンブリーを例会前に開催いたしました。

○会長・幹事会報告

①IMについて……本年度開催します。函館R.C.と上磯R.C.で準備を進める予定です。

②交換学生について……分担金は1500円×7/1現在の会員数

9月8日に歓迎会を開催します。

③人頭分担金の確認について……分担率 9.50%

④合同事務所運営委員会について……市内6クラブ+七飯クラブで運営します。

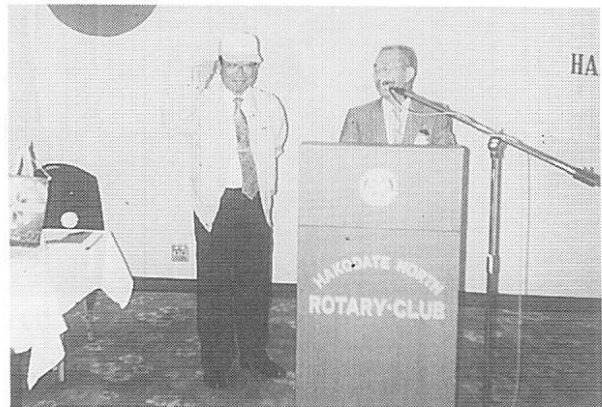
⑤事務局の地区大会参加について……参加させます。(予算も計上)

⑥七飯R.C.の観月会について……9月19日大沼プリンスホテルの予定

◎委員会報告

●社会奉仕委員会 森 秀樹 副委員長

函館ハーフマラソンのスタッフジャンパーが出来上がりました。



◎幹事報告 山下 清司 幹事

○他クラブ例会変更 函館R.C. 8月31日 自主休会、函館五稜郭R.C. 9月1日 夜間例会に変更です。

○8月30日の例会は通常に行いますので、お間違えのない様に。

◎親睦活動委員会 崎野 浩志 委員長

ニコニコBOX投入報告

丸山 淳士 ガバナー……公式訪問に来ました。

大場 公孝 ガバナー補佐……ガバナー公式訪問です。

柴崎 会長……丸山ガバナーをお迎えして。

山下 幹事…… ”

森 会員…… ”

小笠原会員…… ”



増田 会員……丸山ガバナーをお迎えして。  
 弗田 会員…… ”  
 茂木 会員…… ”  
 中川 会員…… ”  
 松見 会員…… ”  
 南木 会員…… ”  
 石橋 会員…… ”  
 藪下 会員…… ”  
 新 会員…… ”  
 渡部 会員…… ”  
 西尾 会員…… ”  
 藤田 会員…… ”  
 崎野 会員…… ”  
 山下(宜)会員…… ”

◎卓話 国際ロータリー第2510地区ガバナー 丸山 淳士 氏



今年度のRI会長ウィリアム・ビル・ボイド氏は、2006年度の国際協議会閉会の辞で次のように述べられました。

1年間はあっという間に過ぎます。終わった後に自分が何かできたかを反省する日はすぐにやってくるでしょう。

皆さんがやるべき事は、言葉ではなく、行動によって人々を導くことです。

その基本はクラブの充実に向けて率先することに他なりません。クラブが充実することで新会員は増強し、現会員の退会防止につながります。

地域社会の人々の目に映るロータリアンが誰しも、誠実且つ寛大で、礼儀正しく、品格を備えた人物であるように常に心を配り「率先」してください。

ロータリー財団がなければ、現在私たちの知るロータリーは決して存在していなかったでしょう。ロータリー財団にも、率先して惜しみない寄付をしてください。

このメッセージを皆さんのクラブに伝えてください。

ロータリーにおいて指導者(リーダー)とは、他人に意志を押しつけることを意味しません。

クラブを側から支え、成功の喜びを共に分かち合い、失敗から学ぶことに力を貸すことです。

人々のニーズを捉える力がロータリアンとして極めて重要な資質です。

地域の低所得地区の小学校に援助をさしのべる計画をしました。校長先生と話をする中で、教科書や教材の提供などよりも、この地区の特殊環境の中では、教材の盗難が頻発しており、学校の運営に必要な予算編成や計画を手伝ってくれる人材の欠如が指摘されました。その地区のロータリアンは、早速警備に詳しい会員を派遣し、わずか1日でおよそ138ドルの金額で盗難に対する対策をとることに成功し、会計士の会員を運営の相談に派遣することで学校の本来の教育を遂行する基盤を造りました。

教材やコンピューターを寄贈しただけであればおそらく1週間のうちにこれらのものはすべて盗難に遭っていたでしょう。

このような、ニーズを捉える力がロータリアンには必要です。

良いことだけを行い、それを楽しみましょう。と閉会の辞を結ばれました。

この言葉が今年度のテーマ「率先しよう」の意味を表しています。

結果を議論することも勿論大切なことですが、行動を起こさなくては意味がありません。失敗をおそれず、自らが率先しなければなりません。